

コスモス ニュースレター EMC & 安全

Cosmos Newsletter on EMC & Safety

発行日 2019-12-01

No. 115



株式会社コスモス・コーポレーション Cosmos Corporation

〒516-2102 三重県度会郡度会町大野木 3571 番地 2

本社・大野木事業所

<http://www.safetyweb.co.jp/>

記事の配列は、概ね、国際規格を最初におき、米、欧、オセアニア、アジアの順です。

コスモス ニュースレター EMC &安全

目次

エグゼクティブサマリー Executive Summary.....	2
ANSI: 規格解説: ANSI C63.4a-2017 (ANSI C63.4-2014 の修正) 試験サイトの検証 (2/2).....	3
IEC: 新規格リスト	6
ISO: 新規格リスト	8
UNECE: 規制 No. 123 適応型前照灯システム(AFS) への改定	9
国際テーマ: 第 83 回 IEC 総会が上海で開催	10
国際テーマ: 欧州委員会がテレビ等の製造者に衝撃を与える: ハロゲンの使用禁止	11
国際テーマ: トルコでの GSO 通知機関会議の結果	12

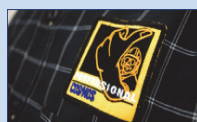
USA: FCC: KDB: Part 96, Part 90: 市民ブロードバンド無線サービス(CBRS)規則の遵守を評価13	
USA: NRTL: NRTL プログラムの適切試験規格リスト、及び一部 NRTL の認定範囲の変更 ...	14
USA: NRTL プログラム、方針、手続き、およびガイドラインに関する命令の改訂版を実施	15
USA: NRTL 申請の処理や現場での審査等関連料金体系、2019 年 10 月 21 日改訂	16
USA: DOE: エネルギーラベリング規則を改正: 2019 年 11 月 29 日付け発効	16
USA: 発電所規模の太陽光+蓄電システム(Solar-Plus-Storage).....	18
USA: DOE: 省エネプログラム: 最近の連邦官報による通知	19
USA: ANSI/UL: 新規格リスト	20
USA: IEEE: 新規格リスト	21
カナダ: CPC-2-1-11 — 要ライセンスワイヤレスマイクのライセンス手順	22

EU: Brexit: 離脱日の 2020/1/31 日までの延期と、発行済み準備通知書の日付の読み方	24
EU: 低電圧指令の整合規格に関する委員会実施決定 2019/1956 が発行	24
EU: 機械指令の整合規格に関する委員会実施決定 2 件 発行	25
EU: 機械指令 2006/42/EC の適用ガイド 第 2.2 版発行 (2019 年 10 月)	27
EU: 外部電源に関する欧州委員会規則 2019/1782 が公示	28
EU: CENELEC: 新規格リスト	28
EU: ETSI: 新規格リスト	31

中国: SAMR, CNCA: 強制性製品認証目録ならびに実施要求の調整完了に関する 44 号公告 ..	32
中国: SAMR: 強制管理を実施する計量器具の目録に関する市場監督管理総局公告	33
中国: SAMR: 金融技術製品認証カタログ、及び金融技術製品認証規則の発行の公告	34
中国: SAMR: エレベーターの型式試験規則 等、7 種の特殊設備の安全技術規範の改訂公告 ..	34
中国: CNCA: 強制性製品認証実施機関の指定作業展開に関する認監委第 19 号公告	35
中国: 新規格リスト	35
台湾: 商品検証登録弁法の条文の一部改正通知	38
台湾: 高効率太陽光発電モジュール技術規範の改正を通知し、即日発効	39
台湾: 検査対象の玩具商品の関連検査規定の改正通知	39
台湾: 新規格リスト	39
韓国: 端末装置の技術基準: データ通信用端末装置 関連変更	40
韓国: 電気用品と生活用品安全管理運用要領の一部改正告示: 大容量バッテリー関連	40

総務省: 電波監理審議会からの答申 — ローカル 5G 等導入のための制度整備 —	41
総務省: 国際電気通信連合 (ITU) 2019 年世界無線通信会議 (WRC-19) の結果	42
経済産業省: 日本産業規格 (JIS) を制定・改正しました (2019 年 11 月分)	42
経済産業省: 電気用品の技術上の基準を定める省令の解釈を一部改正 (PLC 内蔵用品関連) ..	43
経済産業省: 電気用品の技術上の基準を定める省令の解釈を一部改正: 2 規格を改正	44
経済産業省: 住宅用太陽光発電の固定価格での買取期間が順次満了を迎えます	44

ちょっといっぶん〜小クイズコーナー 量の表示について	12
コスモス・コーポレーション: 自動車部品の耐久試験についてのご案内	23
社長の独り言	45



ANSI: 規格解説 : ANSI C63.4a-2017 (ANSI C63.4-2014 の修正) 試験サイトの検証 (2/2)

UNECE: 規制 No. 123 適応型前照灯システム(AFS) への改定

- 「国連規制 No. 123 (適応型前照灯システム(AFS)) の 02 シリーズ修正への補足 1」による変更が、27 August 2019 付で実施された。この内容は、「5.16. この規制の要件の代わりに、ヘッドランプは、適応型前方照明システムに関連して、「国連規制 No. 149 - 道路照明デバイス (RID)」の最新バージョンの要件に準拠することができる」という規定を、追加したものの。

USA: NRTL プログラム、方針、手続き、およびガイドラインに関する命令の改訂版実施

- 米国労働安全衛生局 (OSHA) から発行された覚書により、NRTL プログラム、方針、手続き、およびガイドラインに関する命令の改訂版が実施される。2019 年 10 月 1 日施行。
- NRTL は、試験される機器の要求事項を満たさなければならない雇用者、及び、試験される機器の製造者から、『完全に無関係』でなければならないなどを、新しく規定した。

USA: NRTL 申請の処理や現場での審査等関連料金体系、2019 年 10 月 21 日改訂

USA: DOE: エネルギーラベル規則を改正: 2019 年 11 月 29 日付け発効

- 委員会は、エネルギーラベル規則を改正する。改正は、2019 年 11 月 29 日付けで発効となる。冷蔵庫、冷凍冷蔵庫、冷凍庫、食洗器、給湯器、洗濯機、ルームエアコン、暖房炉、中央式エアコン、ヒートポンプ、配管製品、照明製品、シーリングファン、及びテレビに対するラベリング要求事項が変更された。

EU: 低電圧指令の整合規格に関する委員会実施決定 2019/1956 が発行

- 付属書 I に 27 項目の新規格が掲載された。「EN 61851-23:2014、EN 61851-23:2014/AC:2016-06 電気自動車の伝導性充電システム - パート 23 : DC 電気自動車の充電ステーション」が含まれる。付属書 II に 28 項目の撤回規格が掲載された。

EU: 機械指令の整合規格に関する委員会実施決定二件 発行

- 機械指令の整合規格として 42 件の規格が官報に発表、制限付き整合規格は今回の追加を含め 3 件の規格が発表。撤回された規格は 37 件である。

中国: SAMR, CNCA: 強制性製品認証目録ならびに実施要求の調整完了に関する 44 号公告

- 本公告の日をもって、18 品目は、強制性製品認証管理が実施されないことになった。企業の希望に応じて自主性製品認証に変更することができる。更に、強制性製品認証目録の 17 品目は、第三者認証方式による自己宣言評価方法に変更された。

総務省: 国際電気通信連合 (ITU) 2019 年世界無線通信会議 (WRC-19) の結果

- 第 5 世代移動通信システム (5G) 等で使用することができる国際的な移動通信用周波数 (IMT) の拡大に向けた検討が行われた。我が国については、新たに計 15.75GHz 幅 (24.25-27.5GHz、37-43.5GHz、47.2-48.2GHz、66-71GHz) が IMT 向けの周波数として合意された。

社長の独り言

令和元年 11 月 26 日

濱口慶一

朝はめっきりと冷え込むようになり、つい最近、自宅近くでは霜が降りました。いよいよ冬の到来というところですが、台風や水害の被害から未だ完全に復帰出来ていない地域があり、何もできない自分の無力さを感じます。その一方で、税金の無駄使いではと思うような問題の報道が続いていて、何か大きな矛盾を感じるのは私だけでしょうか？

会社の経営責任者として、スタッフのためにも永遠に継続できる企業へと成長させるためには、常に色々なことを考え、準備していかなければなりません。若い頃に勤めていた会社の上司から教えてもらった“致知”という雑誌の新刊にて紹介されている“西郷南洲遺訓”を購入して読んでみたところ、組織のトップとはこういう心根でいなくてはならないのだということを再確認しました。現代の社会で責任者の立場にある多くの方々に読んでいただきたいと思う項目が沢山あります。目次から抜粋しますと、“上に立つ者の心構え”、“政治の優先順位”、“子孫に美田を買わず”、“税金は安く、民を豊かに”、“道徳がなければ国を維持できない”、“制度や方法でなく、人が第一”、“思慮は平素に練っておく”といった項目に特に興味をもって読みました。内容は、現代文、原文、著者による一言解説の三部構成になっているので、一度目は全文を、二度目以降は現代文のみを読み、座右に置いて理解度を上げて行こうと、リュックに入れました。この本を読んでから、京セラ時代に教えられた色々な稲盛氏の教えも思い出した今年の秋でした。

さて、趣味の日本蜜蜂の養蜂の報告です。毎年秋にはオオスズメバチが襲来するため、日本蜜蜂をどのように守ろうかと思案したり、休日には虫取りタモを持って捕獲していたのですが、とうとう今年は左腕を刺されてしまいました。すごい痛みと腫れを覚悟したのですが、ごく普通のアンモニア液の“キンカン”を塗ったところ、大して腫れませんでした。ただ、刺されたお陰なのか、不整脈が消えたと医師から診断結果をいただき、経過観察中です。今のところ順調な生活を送っています。とはいっても、不整脈があるからとわざと刺されたりはしないでください。しかし、オオスズメバチの入った（漬けた）ハチミツなどが販売されているのを見ると、何らかの効能があるのかもしれない。

友人と市場の状況などを話していたら、二人とも東京オリンピックを境に相当冷え込むのではとの予想で一致しました。その友人からは既に受注が激減しているとも聞いているので、私も今後の会社経営に注意していこうと、一層気を引き締め、決意しました。不況は来てほしくありませんが、弊社の若い技術者の製品安全に対する知識や技能の向上を図り、“トレーサブルなレポート”と“より安心、安全”を求めて、そのようなリスクに遭遇しても生き残れるように備えていくつもりです。そのために、病魔と闘いながら一度もそれを口にせず、快く松阪で講師として講義していただいた高杉徳和さんの「塾を開催しなさい」というお言葉に従って、コスモス塾の活動に力を入れたいと思います。

医療認証業務で、弊社の姿勢が監督省庁寄りで厳しいというお声を聞くことがありますが、監督省庁の指導に従い、あくまでも法令順守の観点から、申請者の企業の皆様方には厳しい内容の照会事項となる場合もあります。例えば、モーターの拘束試験対応として PVC テープで固定されたサーマルヒューズが拘束時の発熱対策用として使用されている旨の記載が試験レポートにある場合、PVC テープが恒久的な固定方法として適しているかどうかの評価で、耐熱性や耐久性、熱伝導性等、必要な確認を行わずに認めることは、認証機関として死活問題になると捉えています。弊社の照会に異議がありましたら、お申し立てください。関係者の討議結果を提出させていただきます。弊社は ISO17025、ISO17065 に従って運営管理している機関として、独立・公正・中立の立場を堅持し、信頼性のある評価を求められており、これを遵守しなければなりません。また、安全を第一に考えることにより、申請者が遭遇するリスク低減につながると考えています。安心・安全を求める弊社としては、30 余年の経験と最新の知識から、疑念のある部分にはお客様に確認を進めながら適否を判断していきたいと考えていますので、何卒ご理解ください。

これから寒い日が続きます。風邪など召されないように、どうぞご自愛ください。

- ニュースレターの内容

本誌は、EMC、安全、及び省エネ (EMC, Safety and Energy Conservation) 分野に係り、世界の主要機関/地域により実施されかつ電気電子製品デバイスに適合が求められている規格/法規制について、その関連情報を、お届けいたします。

重要情報を幅広く調査、収集、かつ、要約して掲載し、当該分野の最新情報、潮流をすばやく捉えることができるようにいたします。情報源を明示しますので、貴殿の関心により、更に深い調査が可能です。

本誌は各国への技術法規適合製品を試験 認証 開発 管理される部門の方にとり必読の内容です。

- 対象機関/地域: IEC 等国际機関、並びに、FCC, UL を含む米国、EU, CENELEC, CEN を含む欧州、その他オセアニア、及び日本を含むアジアの各地域

- 情報源: カバー対象の機関、地域の Web site、或は情報サービス。又、ご協力のご同意を頂いた日本国内及び米国・欧州・中国・韓国・台湾などの当該分野権威者から提供された情報。

- 本誌購読のお申し込み方法

コスモス・コーポレイション CS 部 (カスタマーサービス部) まで sales@cosmos-corp.com
Tel 0598-30-5225 Fax 0598-30-5571

- 発行 : 年間 11 回発行。各号 A4 版、40 ページ前後。

- 価格 : 各号 2,000 円 (年間購読の場合 1 年 11,000 円)(消費税込)

- 本誌の内容案内、ご購入案内は、<http://www.safetyweb.co.jp/services/other/publication/>

本誌の記事が正確であるよう最大の努力を払っておりますが、間違いが含まれていることがあるかもしれません。本情報をご使用になられる場合はご自身でもう一度ご確認ください。

株式会社コスモス・コーポレイションは、下記 Web site の運営体からそれぞれ個別の条件の下、Web 情報の引用、転載につき許可を頂いております。翻訳転載された記事の著作権は著作権者に属します。本誌掲載記事の無断転載を禁じます。本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。

国際機関	IEC: International Electro technical Commission	国際電気標準会議
米州	A2LA: American Association for Laboratory Accreditation	米国試験所認定協会
	ANSI: American National Standards Institute	米国規格協会
	FCC: Federal Communications Commission	連邦通信委員会
	IEEE: Institute of Electric and Electronics Engineers	米国電気電子学会
	CSA: Canadian Standards Association	カナダ規格協会
欧州	CENELEC: European Committee for Electro technical Standardization	欧州電気技術標準化委員会
	ECO : European Communications Office	欧州通信オフィス
	ETSI: European Telecommunications Standards Institute	欧州電気通信標準協会
	EU/EC: European Union/European Commission	欧州連合/欧州委員会
オセアニア	ACMA: Australian Communications and Media Authority	オーストラリア通信/メディア局
	NZ: New Zealand Government Radio Spectrum Management	ニュージーランド政府 RSM
アジア	BSMI: Bureau of Standards, Metrology & Inspection	台湾經濟部標準檢驗局
	CNS: Chinese National Standards Online Service	台湾中国国家規格検索システム
日本	METI: Ministry of Economy, Trade and Industry	経済産業省
	MIC: Ministry of Internal Affairs and Communications	総務省
	NPB: National Printing Bureau	独立行政法人国立印刷局
	VCCI: Voluntary Control Council for Interference	一般財団法人 VCCI 協会

Cosmos Corporation is granted the copyright authorization for the reproduction of the Web site information from the above listed organizations with the individual condition. Further use, modification, redistribution of the information on the Cosmos Newsletter on EMC & Safety is strictly prohibited.

コスモス ニュースレター EMC &安全 (Cosmos Newsletter on EMC & Safety) 2019-12-01 (No. 115)

発行所 : 株式会社コスモス・コーポレイション 松阪事業所 <http://www.safetyweb.co.jp/>

〒515-1104 三重県松阪市桂瀬町 718 番地

発行人 : 濱口慶一

編集人 : 倉品光雄 iNARTE 認定 Certified EMC Engineer (EMC-002315-NE)

© 2019 株式会社コスモス・コーポレイション Cosmos Corporation

本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。